

羽衣学園中・高等学校

その情報、誰が見てる？～公開範囲に注意しよう

授業実践の方法

- ・対象：高校1年生 男子 女子
- ・場所：情報教室
- ・環境：PC Windows7 50台、iPad 50台、Wifi 環境あり
- ・指導者：米田謙三教諭
- ・実施時期：2013年秋



米田謙三教諭

実践報告と今後の課題

■「その情報、誰が見てる？～公開範囲に注意しよう」の指導案

SNS はさまざまな情報を発信するのに役立ちますが、生徒のなかには、SNS というものがどのような仕組みなのかが分からなかったり、使ったことがない生徒もいます。利用している人も、情報を誰に向けて発信しているのか、きちんと理解していないこともあります。

「その情報、誰が見てる？」の授業は、SNS を使ったことがない生徒や教員でも SNS をどのように使えばよいかがよくわかる内容になっています。いろいろとトラブルを起こしやすい、公開設定に問題があるスマホの画面を使って、自分の目的に適った SNS の情報公開設定の仕方について学びます。

■授業の様子

今回の授業では、生徒たちに自ら SNS の公開設定というテーマを考えさせることができ、生徒たちは活発に意見交換をしていました。今回の授業を通して、生徒たちは載せる情報やブロック設定などの安全面をよく考えて使用することと、SNS でのコミュニケーションでは、直接向き合って話す場合よりもさらに慎重に相手の気持ちを考えて思いやりをもつことが大切であることに気づくことができました。生徒たちは今までインターネットや携帯について学校では影の部分しかあまり習ったことがなかったようでしたが、今回の授業を通して光の部分もたくさんあることを実感してくれたことが一番うれしかったです。

その上で現在の情報通信ネットワークを取り巻く危険や懸念などを知り、情報発信の重要性を理解し、特に自ら情報を外部に発信するときの大事なポイントの基本を育むことができました。何気なく自分たちの情報を発信するために撮った写真がいろいろな意味をもつ、思いつきで書き込んだ内容が大変な問題になることがあるなど、本当に身近な視点（リアル）から発信の大切さを理解してくれました。

■生徒の皆さんが学んだこと ～授業後のアンケートより～

- ・公開というか、いろいろな参考になる情報を得ることができた。特に位置情報の問題や外部サイトからの情報漏えいは参考になった。
- ・誰でも閲覧できるサイトとリンクを貼っていると、リンク先からの情報漏えいが起こるというリスクをあまり意識していなかった。ひとつのサイトで個人情報を守っていても、他のサイトで守れていなかったら結局同じなんですね。
- ・友人の設定に関してかなり考えさせられた。どこまでを友人にするか？また友人の情報を自分が漏らすかもしれないかもしれないということが気になった。
- ・授業を通してコミュニケーションの大切さに気づき、尊重しようとする態度を育てることができた。リアルのコミュニケーションの大切さを伝えることができる教材でもあります。

■今後の課題

「その情報、誰が見てる？」の指導案を含む教育プログラムによって、情報モラル教育だけでなく、コミュニケーション能力をはじめ、今社会が求めるいろいろな能力を養うための授業を行うことができると強く感じました。

今後も安全な情報発信を学び、ネット上のコミュニケーションについて考える継続的・計画的に授業実践を進めていきたいと思います。これから取り組まれる先生方も是非情報交換をお願いします。